



国際的に活躍する専修人を紹介する「Globali 専tion(グローバル「専」ション)」。今回はニュージーランドで弁護士として活躍する佐藤慎平さん(平18商)に登場いただく。

ニュージーランド法 弁護士

佐藤 慎平さん(平18商)

SHIMPEI SATO



していました。毎日午前3、4時に起きて勉強。家族もいて、仕事もして、ですから、何度あきらめようと思ったことか。でも、やると決めたからには頑張るしかない。ひたすら英語と法律に向き合いました。7年かけて修了し、昨年11月に弁護士登録しました。支えてくれた家族や仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。

—これからの目標を教えてください。

移民法、雇用法、遺産相続など、日本人がよく関わる法律問題を専門としています。なお、この10月から現地の大手弁護士事務所へ移ることになり、多国籍弁護士のチームの一員として、訴訟案件にも関わる予定です。また、仕事以外では、在留邦人との交流を図っており、ワイカト大学に留学中の専大生とも交流会を行いました。専大初のNZ弁護士として、両国をつなぐ力になりたいと思っています。

専大生へのメッセージ

Curiosity makes you smarter.

「好奇心なくして成長は無い」。留学もしかりです。留学は、日本や自分自身を外から見る事ができる貴重な機会です。客観的な視点を持っているかいないかで、社会人になってからの行動も変わってきます。私は初めての海外で「自分は何も知らない」と思い知り、そこでスイッチが入りました。やる気のスイッチがいつ入るか、人それぞれでしょうが、今の時代、いつでも始めることはできます。円安で経済的な事情などありますが、積極的に留学や新しいことにチャレンジしてください。

専大初のNZ弁護士 両国つなぐ力に

—大学時代の留学体験を教えてください。

2年次で6週間、語学留学でNZに行ったことが私のスタートです。帰国後、NZのワイカト大学が専大の国際交流協定校だと知り、長期留学を目指して勉強を始めました。中学英語からやり直す心構えで、大学の留学支援講座を積極的に活用。急がない長期交換留学に決まり、4年次の1年間、ワイカト大学へ。コミュニケーション、ビジネス、英語を履修しました。

—NZに移住したのは。

29歳のとき、NZの青い空をまた見たいと思いました。当時は商社勤務で大きな仕事も任されていたが退職し、妻とワーキングホリデーでNZへ。日本食輸入企業で電話番から始め、最終的には大人数を束ねるマネジャーを任されました。永住権を取得したのは33歳のときです。

—そこから弁護士を志したのはどうしてですか。

現地で日本人で初めてNZ弁護士になった西村純一先生に誘われたのです。NZの弁護士登録1万6000人のうち日本生まれの弁護士は片手ほど。貿易や会計など、自分の知識が役立てられるかとも思いました。また、司法試験ではなく専門課程を修めれば弁護士になれるということもあり、それならばやってみよう、と。西村先生の法律事務所ですぐ助手として働きながら週の半分はロースクールに通いました。ロースクール自体が狭き門でしたが、進学の際は専大での成績も加味され、しっかり勉強しておいてよかった!と思いました。

—法律の勉強は初めて、しかも英語でとなると、大変だったでしょう。

実のところ、最初は刑事と民事の違いもよく分かっていませんでした。1コマ2時間の講義を一番前の席で必死に聞いて、さらに録音を2回聞き返してようやく理解

校友会情報 就任 第2次岸田第2次改造内閣(9月13日発足) 家公安委員会委員長 松村祥史氏(昭62経営) 同内閣府副大臣 堀井孝氏(平6商) 校友新社長 田城功輝氏(平28経営) ㈱タシロ代表取締役社長に9月20日付で就任。本社+神奈川県。精密板金加工、自社製品の開発製造販売。

鳳翼105号刊行 10月15日刊行の校友会誌は、7月8日に開催さ

公開講座情報 政策科学シンポジウム「地域産業と中小企業」 日時10月30日(月) 14時30分~17時30分

育友会から応援メッセージ 箱根予選会に臨む選手を後押し 陸上競技部は、箱根駅伝第100回大会出場を

ホームカミングデー 2023 10/29 生田キャンパス 「ホームカミングデー」を10月29日(日)10時から生田キャンパス9号館で開催する。

SMBC 三井住友銀行 確実にやるのはどこでもできる。確実に速くやるからこそ「価値」になる。

MUFG 三菱UFJ銀行 世界が進むチカラになる。